

ダックコール笛を作ろう

1. ねらい

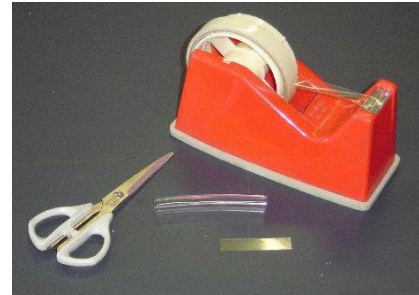
ダックコール笛を作り、遊びながら音と震えの関係に気づくことができる。

※ダックコール笛とは、音色がアヒル(ダック)の鳴く声に似ていることが由来です。



2. 準備物

- ・ビニール管 (12φ×80mm)
- ・OHPシート (12mm×50mm)
- ・はさみ ・セロハンテープ



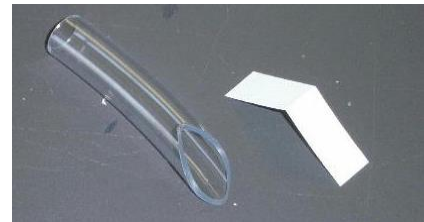
3. 工作

①ビニール管の一端をはさみで斜めに切り取ります。

(児童には、あらかじめ切ったものを渡すとよい)

②OHPシートを半分の位置で折り目を付け、ビニール管の斜めの切り口を塞ぐようにあてて、ビニール管の切り口に合うようにはさみで先を丸く切り取ります。

③セロハンテープでビニール管に止めます。



4. 遊び方 (鳴らし方)

①吸って鳴らす

加工していない一端から息を吸い込み鳴らします。

リードが震えているのが確認できます。

②吹いて鳴らす

リード側を口の中に入れ、息を吹き込み鳴らします。

リードの振るえを口の中で感じるすることができます。



5. 参考 (笛のタイプ)

- (1) 空気振動(エアリード)型 息を2つに分け空気の渦を作り、その空気の振動が音になるタイプ。
事 例：ホイッスル、ウグイス笛、空き缶笛、ガラス瓶笛など。
楽器例：フルート、リコーダー、オカリナなど。
- (2) リード振動(リード)型 吹き口の「リード(へら)」の振動により空気が振動し、音になるタイプ。
事 例：ストロー笛、ダックコールなど。
楽器例：1枚リード(シングルリード)…クラリネット、サクソフォンなど
2枚リード(ダブルリード)…オーボエ、ファゴットなど
- (3) 唇振動(リップリード)型 上下の唇を振動させることによって空気の振動を音源とするタイプ。
事 例：口を閉じ息を吐きながら上下の唇を振るわすと「ブーブー」と音が鳴る。
楽器例：トランペット、トロンボーン、ホルン、ユーフォニウム、チューバ など